2024年３月

関東学院六浦こども園

みちしるべ

聖　　句：	わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。　（ヨハネによる福音書　１５：１２）
保育目標：	０歳児　・生活のリズムができ、楽しんで過ごすことができる。春の訪れを感じる。 １歳児　・神さまが守ってくださることを喜ぶ。自分で出来ることが増え、安心して過ごす。 ２歳児　・友だちと一緒に楽しみながら大きくなることを喜ぶ。神さまが守ってくださることを喜ぶ。 ３歳児　・友だちに思いを伝え合うことを喜び、互いの思いを受けとめる。大きくなったことを喜ぶ。 ４歳児　・友だちや保育者との関係を土台にして、自分を思い切り発揮する。４月を楽しみにする。 ５歳児　・互いを認め合い、助け合う仲間になっていることを喜び感謝する。４月を楽しみにする。

２月は雨の多い月でしたね。雪ではなく『雨になってしまう』というのは、やはり温暖化の影響でしょうか。園庭の白木蓮やこぶしの花が咲き（通常は３月から開花する）始めてしまい、自然界はいったいどうなっているのかしら…となんだか心配になってしまいました。日頃、当たり前だと思って過ごしていることが本当は当たり前ではないことを私たちは知らされています。日々の生活の中にどれだけ小さな幸せと感謝が詰まっていることでしょう。そのことを忘れないで大切にする生活をこれからも子どもたちと送っていきたいと思います。

年が明けてあっという間に３月になりました。いつもそのような気持ちにさせられます。時は同じ長さを刻んでいるはずなのに不思議ですね。３月は一つの節目を迎える時、次への一歩を歩み出すために大事な時です。子どもたちは、今まで出合った人や物や事柄を感じて心を動かし自分なりに考えて試してきました。その中で友だちや仲間に出会い、自分の好きなことを見つけてきたのです。３月は、更に子どもたちが『今を十分楽しんで、自分の持っている力を信じてほしい』と願っています。それは、子どもたちが４月から始まる新しい生活に挑戦していく時の糧になるからです。どんなに先のことが気になっても、私たちは子どもたちを急かすことなく、先のことを考えながら今を大切に過ごすことが大事なのでしょう。

ある朝、外階段で出会う子どもの顔つきがいつもと少し違って見えました。そこで、お母さんに「なんだか、大人っぽいすっきりした顔になりましたね」と声を掛けると「そうなんです。今日は時計の針〇〇で帰っていいからと言ってくれたんです。」と嬉しそうに答えてくれました。私たちの会話を聴きながら楚々として階段を上がっていくその子の後ろ姿を見送りながら、私は改めて『子どもの中にある力』を感じていました。そしてその後、お母さんと二人で「今日は記念日ですね！」と喜び合ったのです。お母さんがじっくり時間（心の中はいかばかりか…大人にとってはとても辛抱のいる大変なことですから）をかけて、この時を待っていらしたと思うとその忍耐力と子どもの持つ力を信じる姿に心を打たれました。

子どもは自分に合った（必要な）時をもっていて、一つひとつのことを自分の力に変えていくのだと思います。そう感じた時『何事にも神さまが用意してくださった時がある』という言葉が浮かびました。きっと神さまは私たちのことを何でもご存知でちょうどよい時を用意してくださっていて、私たちと一緒にその時を待っていてくださるのですね。私たちもその子に合った時がいつなのか心を配りながら日々、試行錯誤を続けていきたいと思います。

３月は巣立ちの時。もり組・そら組・うみ組の子どもたちは六浦こども園を卒業していきます。子どもたちは園の中でどんな自分を見つけたのでしょう。一人ひとり違っていても『神さま』でみんなつながっていますね。新しい世界でも、きっと何かが待っています。楽しみにしていましょう。私たちはいつも六浦こども園からエールを送っています。

園長　鈴木 直江